

石川県湖南運動公園の平成18年度管理状況

施設所管課	農林水産部生産流通課
指定管理者	財団法人石川県県民ふれあい公社 理事長 栗原 正一
指定期間	平成18年4月1日～平成21年3月31日

(1) 管理業務の実施状況

業務内容	業務の実施状況
利用する者への利便の提供に関する業務	<p>受付業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 受付窓口職員を常駐させた <p>利用者の苦情・意見の把握</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 受付窓口意見箱を設置し、意見の収集に努めた <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1日2回の園内巡回を徹底し、園内状況を的確に把握することに努めた
利用の促進に関する業務	<p>受付窓口への職員常駐</p> <p>予約受付の開始を2ヶ月前から6ヶ月前へと拡大</p>
使用料の徴収に関する業務	使用料の徴収、減免の決定はいずれも適正であった
施設・設備及び備品の維持管理及び修繕に関する業務	<p>芝生管理業務、清掃業務、高圧受変電設備保守点検業務、汚水処理施設維持管理業務、立木消毒・枝きり・草刈り・側溝清掃、グラウンドの整地、小規模修繕等いずれも適正であった</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ グラウンドの整地については、土入れの回数を大幅に増やしたことにより、良好な状態が維持された ・ 小規模修繕：ベンチ上屋等塗装等

(その他知事が必要と認める業務)	<p>緊急時の対応体制：園内に緊急連絡先を掲示</p> <p>緊急連絡網を作成し関係機関へ配付</p> <p>施設賠償責任保険：適正に加入</p> <p>個人情報管理状況：適正であった</p>
------------------	--

(2) 施設の利用状況

有料利用者前年度対比(少数第2位4捨5入)

野球場利用者	17年度 11,627人	18年度 13,390人	115.2%増
サッカー場利用者	17年度 3,155人	18年度 3,650人	115.7%増
アーチェリー場	17年度 1,145人	18年度 1,712人	149.5%増

増減理由：天候に恵まれたこと

サービスの向上等による利用の促進

北信越高校総体アーチェリー競技の会場となったこと

(3) 使用料の収入実績

種別	人数(人)	収入額(円)	減免理由
利用料：野球場	13,390	2,395,190	
利用料：サッカー場	3,650	262,550	
利用料：アーチェリー場	1,712	183,970	
利用料減免：アーチェリー場、サッカー場	3,864	0	県障害者スポーツ大会、高校部活動等
合 計	22,616	2,841,710	

(4) 収支決算

(円)

収 入		支 出	
管理料	10,853,000	賃金	231,668
利用料収入	2,841,710	需用費	6,390,724
			<ul style="list-style-type: none"> 電気料 3,085,842 修繕費 3,070,540 水道料 60,662 消耗品 173,680
<div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; height: 100%; width: 100%;"></div>		役務費	94,064
		委託料	5,546,540
			<ul style="list-style-type: none"> 芝生管理 4,444,650 清掃 777,000 高压変電 225,750 合併処理 99,140
		借上料	772,380
		原材料費	248,850
		公課費	25,000
		消費税	94,000
		修繕積立金	291,484
合 計	13,694,710	合 計	13,694,710
収支差額	-		

(5) その他、県が必要と認める事項

事故、故障等：該当なし

その他報告事項など：特になし

(6) 評価結果

評価項目	結果	所見(工夫、改善点)
サービスの維持・向上に向けた取組みが行われているか。	A	・意見箱を設置したり園内巡回の回数を増やすことにより、利用者からの意見の収集や園内状況の的確な把握を行い、より快適な施設運営に努めた。
利用促進に向けた取組みが行われているか。	A	・利用者からの問い合わせに迅速に応えるため、受付窓口へ職員を常駐させた。 ・予約受付開始を2ヶ月前から6ヶ月前へと拡大した。
施設、設備及び備品の維持管理及び修繕が適切に行われているか。	A	・野球場グラウンドの手入れを頻繁に行うことにより、グラウンド状態を良好に維持することに努めた。
緊急時の対応・安全管理などの危機管理が適切に行われているか。	B	・緊急時の連絡体制を定め、関係機関に周知した。 ・緊急連絡先を園内に掲示した。
適切な管理運営を行う組織・体制か。	B	・適切な職員の配置及び勤務体制がとられていた。
その他、必要と認める事項(施設賠償責任保険加入、個人情報管理)	B	・適正に実施、管理されていた。

総合評価	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ 適正な管理及び運営がなされており、利用者からも好評を得ている。今後も専門的なノウハウを活かした良好な管理を期待できる。
------	---	---

評価基準

- A (優): 従前の管理水準や仕様書等に定める水準を上回っている
- B (良): 従前の管理水準や仕様書等に定める水準を十分に実施している
- C (可): 従前の管理水準や仕様書等に定める水準を概ね実施しているが、一部改善を期待する部分がある
- D (不可): 従前の管理水準や仕様書等に定める水準を下回っている

総合評価

- A (優): 適正であり、優れた実績をあげている
- B (良): 適正である
- C (可): 概ね適正であるが、一部改善を期待する
- D (不可): 改善が必要である